○飼料の公定規格(昭和51年7月24日農林省告示第756号)一部改正新旧対照表

(下線部分は改正部分)

	改	改正			正後							現							行					
別表												別表												
原料名	畜種	DM	養価 (原物 TDN (%)	所E (Kcal/ kg)	粗白た質	粗 脂 肪	上率 可容素 無物	粗繊維	代謝率	備考		原料名	畜種	栄養 DM (%)	養価(原物 TDN (%)	呼) ME (Kcal/ kg)	粗白た質	粗 脂 肪	上率 可窒素 無物	粗繊維	代謝率	備考		
【略】							•					【略】		(/-/	(/=/	U/					•			
2. そうこう類 (ぬか類又は動	造かっ	す類であ	って、でん	し粉製造の	際に得	られる	副産物ス	ては発酵	生工業副産	E物をいう。)		2. そうこう類 (ぬか類又は製	造かっ	上類であ	って、でん	ン粉製造 <i>の</i>	際に得る	られる副	削産物又	は発酵	工業副産	物をいう。)		
グルタミン酸 発 酵 か す	鶏豚牛	91. 5 91. 5 —	60. 3 —	2, 470 — —	84 74 —	22 45 —	0 67 —	0 0 —	52. 6 — —			グルタミン酸 発 酵 か す	鶏豚牛	91. 5 91. 5 —	60.3 —	2, 470 - -	84 74 —	22 45 —	0 67 —	0 0 —	52. 6 — —			
<u>玄</u> 米ジスチラーズ グレインソリュブル	鶏胚生		<u>-</u> <u>79. 1</u> <u>80. 5</u>	3,020 _ _ _	<u>72</u> 74	<u></u> <u>76</u> <u>87</u>	<u></u> <u>80</u> <u>66</u>	<u>-</u> 37 51	59. 3 — —	燃料用アルコールの副 産物であって、乾燥し たものであること。栄 養価は、暫定的に定め たものである。														
【略】		!	ļ	ļ	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					【略】						<u> </u>	<u> </u>	<u>. </u>	ļ	-		
大 豆 皮	鶏豚牛	89. 7 89. 7 89. 7	49. 5 63. 7	1, 150 — —	50 45 48	50 61 76	40 67 75	0 40 72	26. 7 — —			大 豆 皮	鶏豚牛	89. 7 89. 7 89. 7	- 49. 5 63. 7	1, 150 — —	50 45 48	50 61 76	40 67 75	0 40 72	26. 7 — —			
てん菜糖液・小麦 ジスチラーズグレイ:	鶏胚生	<u>-</u> <u>-</u> 96. 3	= = 73.1	= =	<u>-</u> <u>-</u> <u>79</u>	<u>-</u> - 72	<u>-</u> - 74	 <u>34</u>		てん菜糖液と小麦をおおむね6:1の割合で混合 おむね6:1の割合で混合 レして発酵蒸留した副 産物を乾燥したものであること。栄養価は、 暫定的に定めたものである。	-													
<u>てん菜糖液</u> ジスチラーズグレイ:	<u> </u>	<u>=</u> <u>=</u> 93. 3	= = 77.6	= = = =	= = 80	<u>=</u> <u>0</u>	= = 94	<u> </u>	= = =	燃料用アルコールの副 産物であって、遠心分 離機で脱水し、乾燥し たものであること。栄 養価は、暫定的に定め たものである。	-													
【略】	ı	1		l	I	I						【略】					1	I		1		L		
でん粉かす (キャッサバでん粉か す)	鶏豚牛	86. 1 —	75. 7 —	_ _ _	17 -	_ 0 _	95 —	67 -	_ _ _	インドネシア産の キャッサバいもから得 られたものであるこ と。ただし、遠心分離 法により得られたでん 粉かすを除く。		でん粉かす (キャッサバでん粉が す)	鶏豚牛	- 86. 1 -	- 75. 7 -	- - -	17 —	_ 0 _	95 —	67 -	_ _ _	インドネシア産の キャッサバいもから得 られたものであるこ と。ただし、遠心分離 法により得られたでん 粉かすを除く。		
でん粉かす (キャッサバでん粉か す)	<u> </u>	= = 88.1	<u>=</u> <u>=</u> 69. 7	= = = =		<u>-</u> <u>-</u> <u>65</u>	<u>-</u> <u>94</u>		= = =	キャッサバいもから得られたものであり、遠心分離機で脱水し、乾燥したものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。	-													
【略】		l										【略】	1 1				1	1	I .	1	l	ı		

1

	改正					後					現							行				
【略】												【略】										
3. 植物性油かす (植物性油料原		ら搾油し	たかす類に	又は植物性	生たん白	質を主席	成分とす	-るもの	をいう。)		3. 植物性油かす (植物性油料原		たかす類り	スは植物性	たん白	質を主席	成分とす	-るもの	をいう。)	
【略】												【略】										
加湿加熱処理大豆油かす	鶏豚牛		- - 81. 4	_ _ _	93	97	99	_ _ 100	-	脱皮大豆油かずに大豆 皮を3%程度混合したも の又は大豆油かすに、 30%程度加水した上で 90℃以上で3時間程度加 熱処理したものである こと。		加湿加熱処理大豆油かす	鶏 一豚 一牛 89.7	- - 81. 4		93	97	99	_ _ 100		脱皮大豆油かすに大豆 皮を3%程度混合したも の又は大豆油かすに、 30%程度加水した上で 90℃以上で3時間程度加 熱処理したものである こと。	
加糖エクストルーダー 処理脱皮大豆油かす		94. 1 =	<u>-</u> 81. 2 <u>-</u>	= = =	<u>90</u> =	<u>—</u> 15 —	<u>—</u> 95 —	<u>=</u> <u>83</u> <u>=</u>	= = =	脱皮大豆油かすにおお むね25%の乳酸発酵脱 脂乳 (糖質50%) を加 え、二軸のエクスト ルーダーで処理したも のであること。栄養価 は、暫定的に定めたも のである。	=											
【略】	【照答】											[時]										
発 酵 脱 皮 大豆油かす	鶏豚牛		78. 6 —	_ _ _	95 —	40 —	86 —	- 39 -	_	脱皮大豆油かすを乳酸 菌で発酵処理したもの であること。		発 酵 脱 皮 大豆油かす	鶏 - 豚 94.0 牛 -	78. 6 —	- - -	95 —	40 —	86 —	39 —		脱皮大豆油かすを乳酸 菌で発酵処理したもの であること。	
<u>発酵脱皮</u> 大豆油かす	<u> </u>	93.0 =	<u>=</u> 80. 2 =	= =	<u>=</u> 92 =	<u>=</u> <u>40</u> <u>=</u>	<u>=</u> 87 <u>=</u>	<u>—</u> 98 —	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	脱皮大豆油かすを枯草 菌で発酵処理したもの であること。栄養価 は、暫定的に定めたも のである。												
【略】	-	<u> </u>	ļ	-	ļ	!	<u> </u>	<u> </u>				【略】	-!			ļ		ļ	1	<u> </u>	-	
4. 動物質性飼料 (動物体に由来		たん白質	を主成分	とするもの)をいう	。)						4. 動物質性飼料 (動物体に由来		を主成分	こするもの)をいう。	,)					
【略】												【略】										
全卵酵素分解物	鶏豚牛		110. 2 —	_ _ _	91 -	88 -	- 46 -	- 0 -	_ _ _	全卵をアスペルギルス 菌から得られたプロテ アーゼで処理したもの であること。		全卵酵素分解物	鶏 - 豚 93.4 牛 -	110. 2 —	_ _ _	91 -	88 -	- 46 -	- 0 -	_ _ _	全卵をアスペルギルス 菌から得られたプロテ アーゼで処理したもの であること。	
全卵酵素分解物	<u>鶏</u> 胚生	<u>-</u> 93. 9 <u>-</u>	<u>=</u> 122.1 <u>=</u>	= = =	<u>-</u> 95 <u>-</u>	<u>-</u> 89 -	<u>-</u> 86 <u>-</u>	<u>-</u> <u>54</u> <u>-</u>	= = =	全卵をアスペルギルス 菌及びパパイヤの果実 から得られたプロテ アーゼで処理したもの であること。栄養価 は、暫定的に定めたも のである。												
【略】	[图6]											[略]										